

令和4年度(2022年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第14号

玉南中学校区学校保健委員会

——10月17日午後、玉南中学校

参加者は学校三師(学校医、学校歯科医、学校薬剤師)、三校PTA会長、三校PTA家庭教育部長、保健主事、栄養教諭、養護教諭、玉南中学校1年生、三校校長です。

まず寺本雅将さん(NPO法人MASA FREE SCHOOL代表)の「ストリートチルドレンに学ぶ生き方」という講演を聴きました。寺本さんからまず「厳しい環境の中にあっただとしても、どのように生きていくのか」という問いが出されました。これに対する正解は一つとは限りません。日常は改めて考えることのないこの問いに対しては、こうした場を通してこそ向き合えます。中学1年生もしっかりと考えていました。(写真)

その後、「子どもたちの健やかな成長のため」という議題で健康診断結果等(発育・栄養状態、視力、歯科)から校区児童生徒の健康課題を協議しました。児童生徒に限らず私たちの生活面から健康面に対してコロナ禍の影響が及んでいることは否めません。そうした中で、三校に共通する第一の課題はメディアコントロールです。視力低下の増加や規則正しい生活習慣(睡眠時間、運動・栄養・休養の取り方)に関する課題により、子どもたちの健やかな成長のためには、学校での指導はもとより各家庭内での話し合いが不可欠です。保護者の皆様におかれましては、この点をよろしく



お願いしたいと思います。

6年生防災教室——10月20日

くまもとマイタイムライン防災教育サポート事業(県危機管理防災課主管)でNPO法人防災WESTに協力をいただき実施しました。講師は気象予報士・防災士の羽廣正樹さんと気象予報士の吉良正子さんです。



「地域の災害リスク(危険度)を知る」「災害から身を守るための知識を持つ」の2点から学びを深めることができた6年生です。

具体的には、4人班ごとに架空の町に暮らす家族として、大雨が降りだしたところから気象情報をもとに、どのようにして家族全員の命を守るかを時系列で考え、その行動の理由も出し合いました。

振り返りとして災害時に求められる力を確認しました。それ



らは考える力、判断力、行動力です。

これらを踏まえ、実際の自宅の位置を地図で確認し、「くまもとマイタイムライン」作成に取り掛かりました。玉名市のハザードマップから自宅の位置、そして災害リスクを確認しました。自宅の位置によってリスクが異なることから、それに応じて「いつ避難スイッチ」を入れるかを考えました。

6年生にはこの学習を通して学んだことを活かし、率先避難者として家族の命を守る役割を果たしてくれることが期待できそうです。

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索